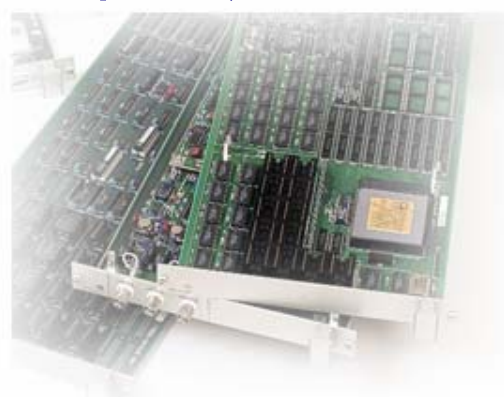


# IMV CORPORATION

平成18年9月期  
決算説明資料

2006年11月29日



# 会社概要 (2006年9月期:連結)



社 名 : IMV株式会社 (英文社名:IMV CORPORATION)

証券コード : 7760 (ジャスダック証券取引所)

設 立 : 1957年4月17日

事業概要 : 振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売  
及びテスト&ソリューションサービスの提供

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫

売 上 高 : 4,953百万円

経 常 利 益 : 609百万円

資 本 金 : 464百万円

従 業 員 数 : 191人 (48名の期中平均臨時従業員含む)

本 社 所 在 地 : 大阪市西淀川区竹島2-6-10

(本社/R&Dセンター/大阪工場/東京工場/東京支店/大阪営業所  
/名古屋営業所/東京テストラボ/大阪テストラボ)

# 沿革 ～会社更生法からの再建



- 1957年 4月 株式会社国際機械振動研究所を設立
- 1974年10月 会社更生法を大阪地裁へ申請  
小嶋成夫(現社長)が更生管財人として自力再建を開始
- 1985年 7月 残3回の弁済計画を繰り上げ、会社更生手続きを終結
- 1994年 9月 日東精機(株)(現連結子会社)を100%子会社化
- 1998年 4月 国内初のテストラボ専用施設を完成(東京工場敷地内)
- 2005年 5月 本社・大阪工場を大阪市西淀川区に移転・統合
- 2005年 6月 大阪テストラボ開設
- 2005年 7月 ジャスダック証券取引所に上場
- 2005年10月 組織・機構改革を行い、R&Dセンター、エンジニアリングサービス部、テストラボ事業部、海外事業部、新技術開発プロジェクトを設置
- 2007年 4月 会社設立50周年

# 事業の概要と用途例 ～幅広い製品群



## 振動シミュレーションシステム

一般工業製品や建築土木構造物がそのライフサイクルにおいて受けることが予想される振動環境を再現し、振動に対する耐振性及び改良の必要性等を評価、判定するための試験装置です。振動以外の環境因子との複合試験にも用途は拡大しています。売上構成比:66.3%



ロードシミュレーター



オールウェザーシミュレーター



6自由度シミュレーター

## メジャリングシステム

工業製品、設備機械、建築・土木構造物などに発生している振動を監視し、データとして収録後、解析処理する装置です。設備機械の劣化診断、地震災害時の設備緊急制御等に用いられます。電子部品の環境信頼性を評価する新製品が好調です。売上構成比:23.0%



小型携帯振動計



地震監視装置



環境信頼製評価システム

## テスト&ソリューションサービス

設備や試験ノウハウを持たない顧客からの振動試験委託及び解析要請を受け、振動試験の受託やコンサルティング等を実施しています。様々な顧客層のアウトソーシング需要の取り込みを図っており、サイトの増設、サービスメニューの拡大に取り組んでいます。売上構成比:10.7%



テストラボ場内風景



多点制御試験設備

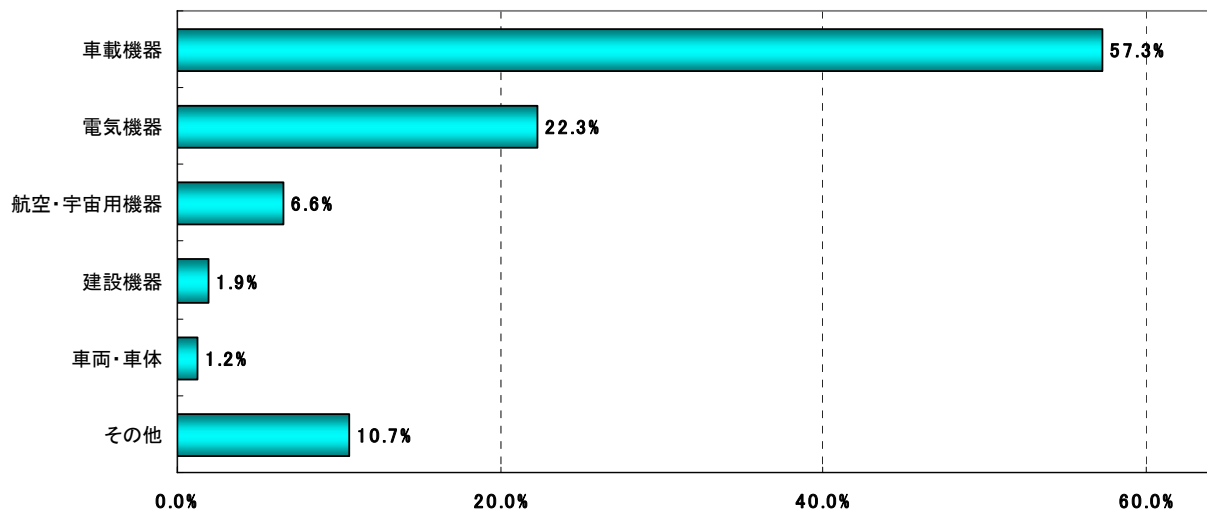


複合試験風景

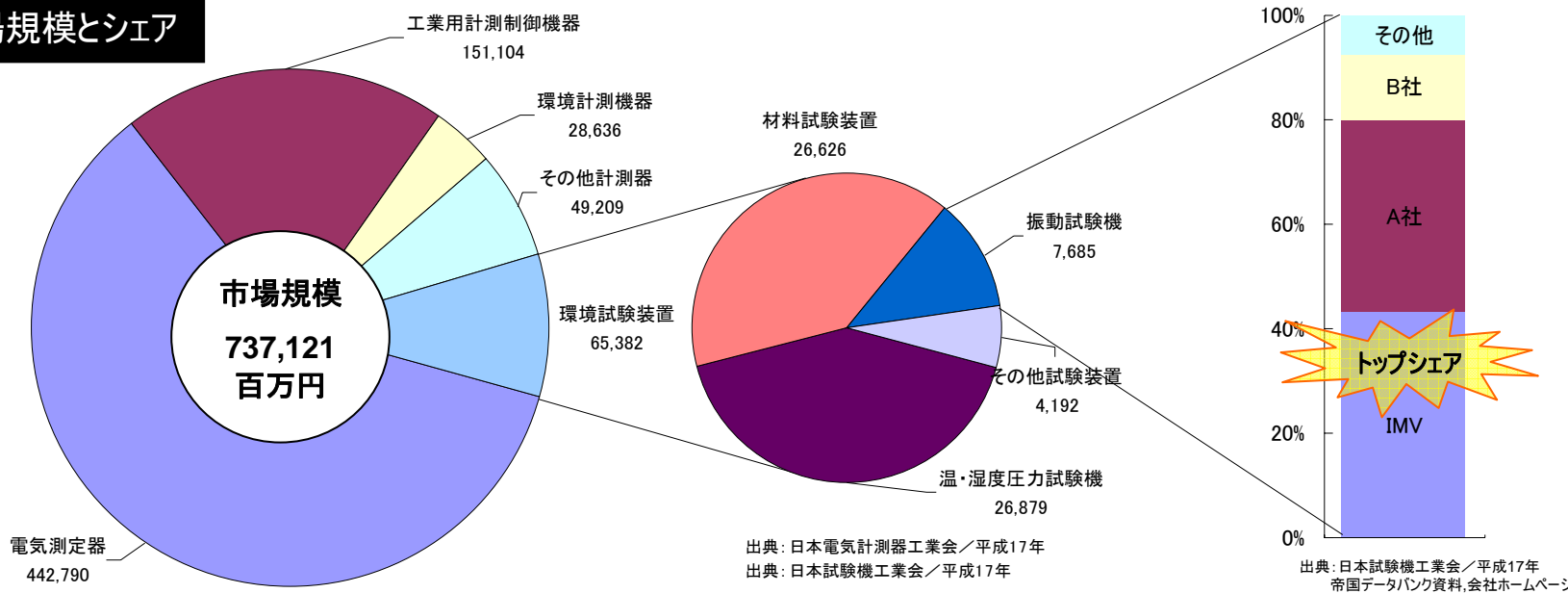
# 産業別販売先と市場規模 ～国内トップシェア



## 産業別販売先



## 市場規模とシェア





# 決算概要(数値実績)



(単位:百万円)

	06/9期 実績	05/9期 実績	増減額	増減率	06/9期 予想	増減額	増減率
売上高	4,953	5,088	△135	△2.7%	5,703	△750	△13.2%
経常利益	609	621	△12	△1.9%	700	△91	△13.1%
当期純利益	329	476	△147	△30.8%	414	△85	△20.5%
設備投資額	204	2,212	△2,007	△90.8%	180	+24	+13.5%
減価償却費	278	176	+101	+57.3%	288	△9	△3.4%
研究開発費	96	129	△33	△26.0%	143	△47	△33.0%
従業員数※	191人	171人	+20	+11.7%	185人	+6	+3.2%
1株当たり利益※	19.47円	29.95円	△10.48	△35.0%	24.49円	△5.02	△20.5%
1株当たり配当金※	4.00円	3.75円	+0.25	+6.7%	4.00円	-	-

※従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※2005年12月31日付で普通株式1株を2株に分割しており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の指標を表記しております。

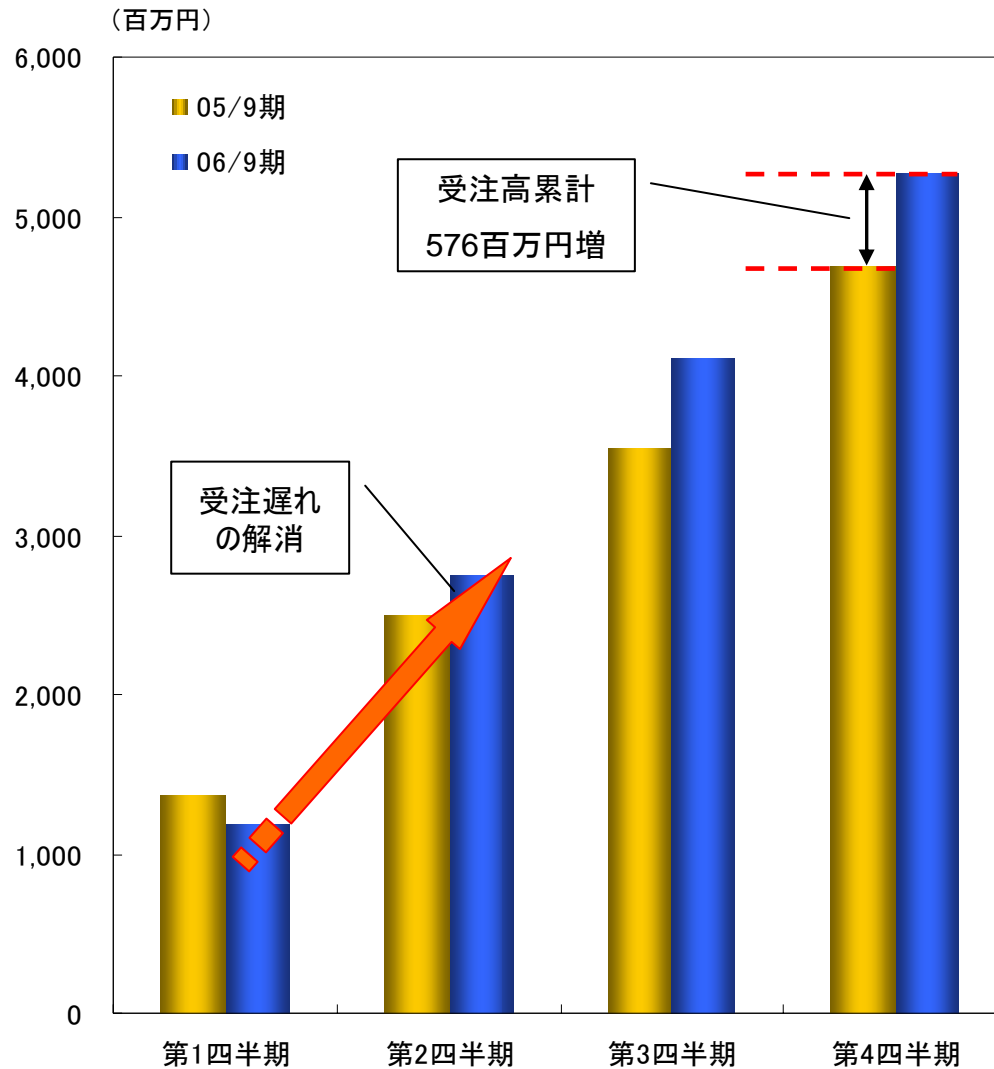
※06/9期の配当金につきましては、2006年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。

- 中間期に見られた顧客の設備投資案件処理や、高度化製品の仕様決定長期化に起因する受注遅れの影響により、売上高目標を未達となるも、受注残高の増加に見られるように、足元の状況は堅調。
- 大阪テストラボの垂直立上げ成功。既存施設とのカニバリゼーション(共食い現象)もなく、東京テストラボでも過去最高益を達成。
- 新製品を投入した振動計測装置及び環境信頼性評価システムの好調により、メジャリングシステムの売上高が増加。ソリューション業務と製品販売との相乗効果も見られる。
- 海外への積極的な事業展開により、引き合い増加。特にロシアやインドなどのBRICs圏に代表される新興国からの引き合い多数。
- CSR強化の一環として、大阪地区の施設を対象にISO14001の認証を取得。

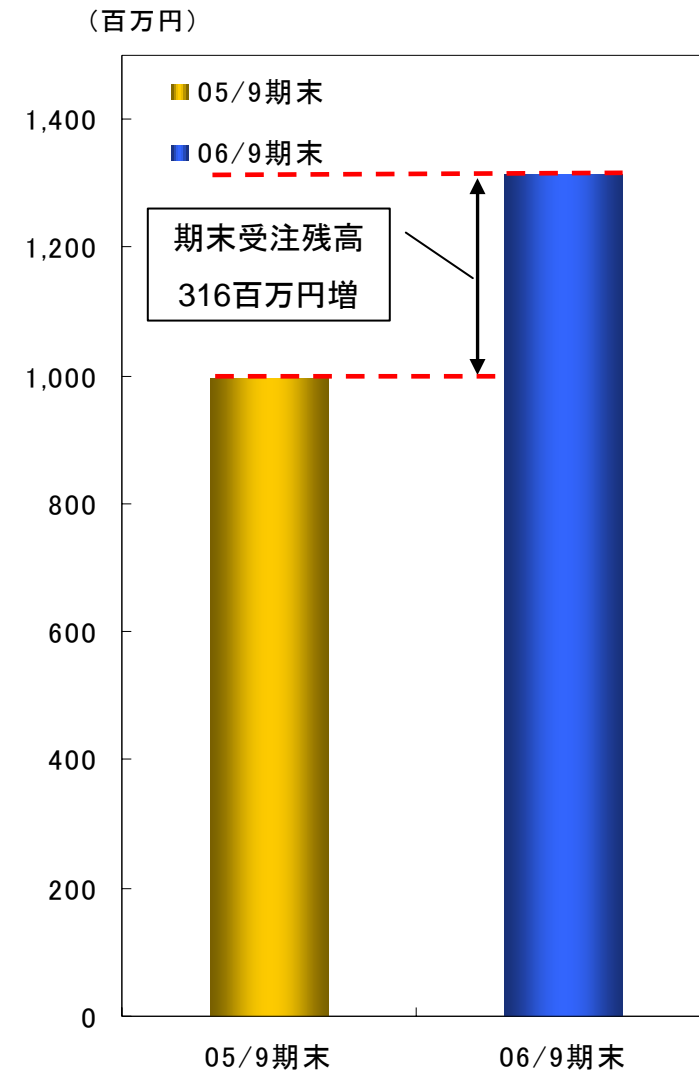
# 受注の状況 ～受注遅れ解消し、残高増加



### 受注高の推移



### 期末受注残高の推移





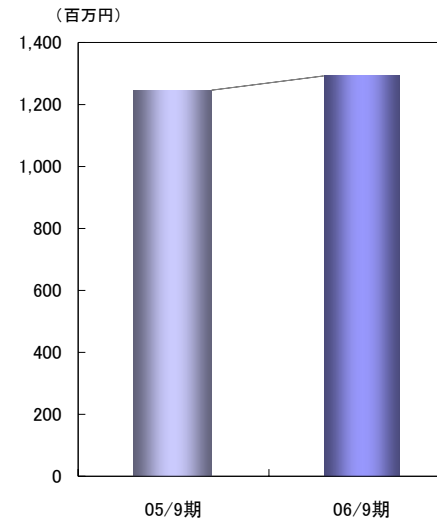
# 振動シミュレーションシステム



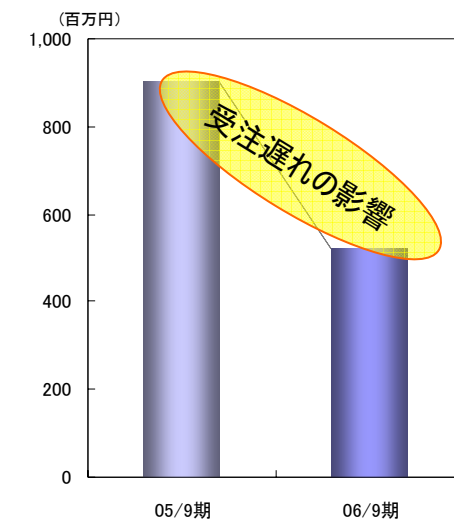
(単位:百万円)

	06/9期	05/9期	増減額	増減率
オールウェザー (単軸・多自由度含む)	1,289	1,247	+42	+3.4%
ノーマル/単軸	1,185	818	+366	+44.8%
ノーマル/多自由度	237	787	△ 549	△ 69.8%
その他・修理	568	821	△ 252	△ 30.8%
合計	3,281	3,674	△ 393	△ 10.7%

オールウェザー  
シミュレーションシステム



多自由度  
シミュレーションシステム



- 中間期に見られた顧客の設備投資案件処理や、高度化製品の仕様決定長期化に起因する受注遅れの影響により、前期実績を下回る結果となりました。
- 振動以外の環境因子と同時に試験を行うことができるオールウェザーシミュレーションシステムが堅調に推移しました。
- 標準製品の販売強化及び、航空宇宙関連産業への単軸大型シミュレーターの納入により、ノーマル/単軸製品の売上が増加しました。
- 多自由度シミュレーションシステムについては、前年同期に大型特殊物件の計上があったことや、高度化された製品の仕様決定に時間を要した影響により、売上が減少いたしました。

# メジャリングシステム

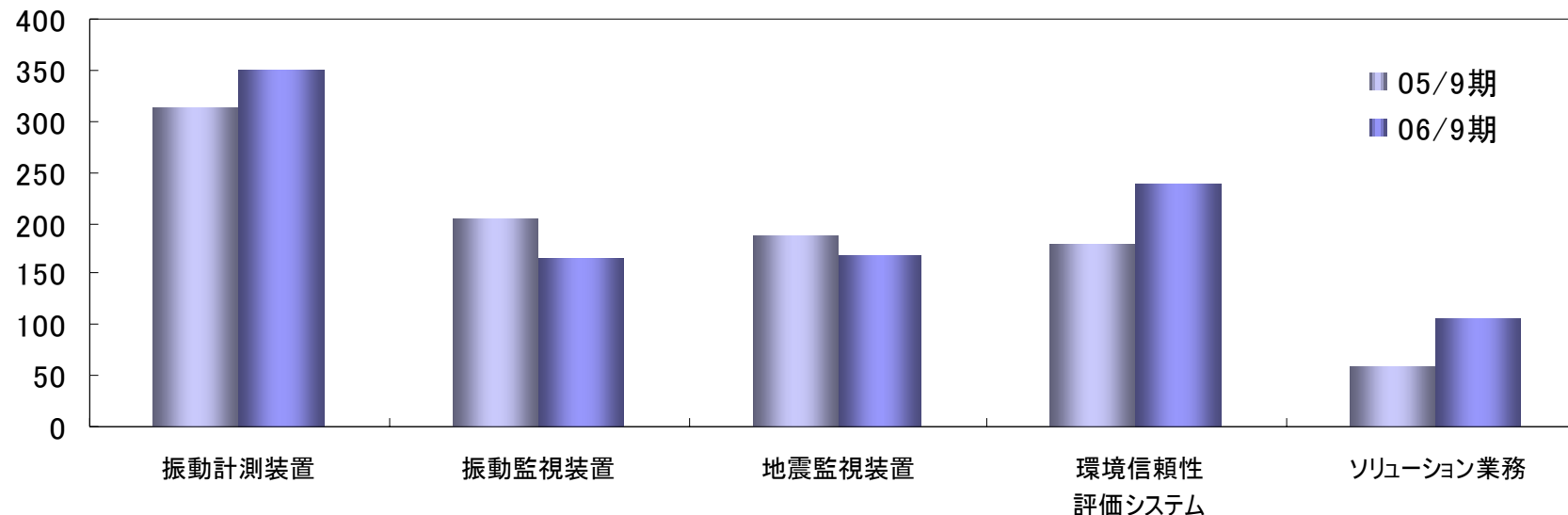


(単位:百万円)

	06/9期	05/9期	増減額	増減率
振動計測装置	350	312	+37	+12.1%
振動監視装置	166	204	△38	△18.7%
地震監視装置	169	187	△18	△9.7%
環境信頼性評価システム	238	179	+59	+33.1%
ソリューション業務	106	58	+48	+83.3%
その他・修理	110	117	△6	△5.7%
合計	1,141	1,059	+82	+7.8%

- 新製品投入やOEM供給製品(SKF社向け1000台突破)の多言語化推進により振動計測装置の売上が増加しました。
- 新製品の高電圧マイグレーションテスターの寄与等により、環境信頼性評価システムの売上が増加しました。
- ソリューション部門とアフターサービス部門との統合効果でソリューション業務が急成長いたしました。
- 前期にプラント向けの大型物件があった影響により、監視装置が前期実績を下回りましたが、地震計の新製品投入により改善傾向にあります。

(百万円)



# テスト&ソリューションサービス



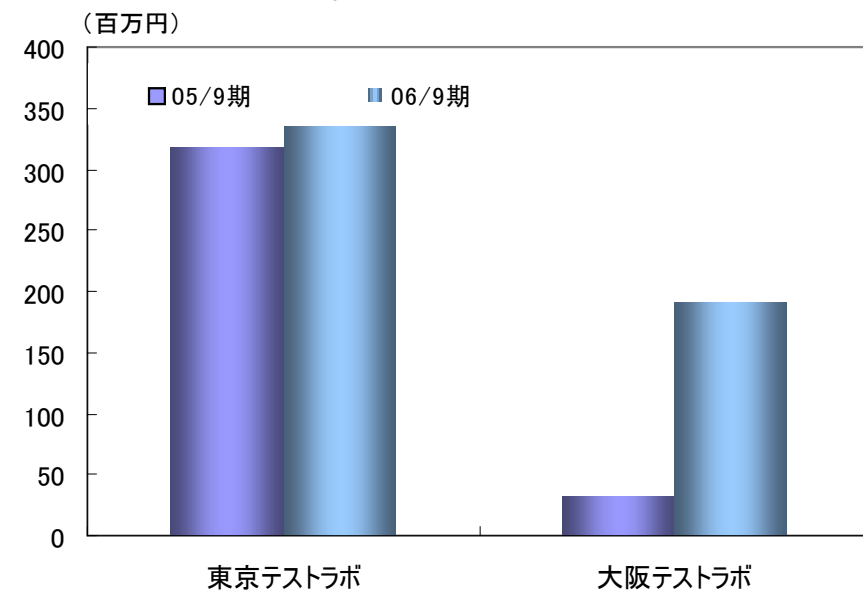
(単位:百万円)

	06/9期	05/9期	増減額	増減率
東京テストラボ	334	318	+15	+5.0%
大阪テストラボ	190	31	+159	+502.8%
子会社外部売上	4	4	+0	+3.8%
合計	529	354	+175	+49.4%



鉄道関連大型試験品対応  
多点シミュレーター

- 3件の多点試験(複数の試験機を同時に用いて行なう振動試験)を実施するなど大阪テストラボが着実に成長しました。
- 東京テストラボが過去最高益を更新いたしました。
- 今期に増強した試験設備は以下の通りです。
- 【東京テストラボ】
  - ・中型シミュレーションシステム 1台
- 【大阪テストラボ】
  - ・オールウェザーシミュレーションシステム 3台
  - ・中型シミュレーションシステム 2台



# 連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	06/9期末	05/9期末	増減額		06/9期末	05/9期末	増減額
流動資産	3,925	3,235	+690	流動負債	2,946	2,986	△40
現金預金	498	568	△69	仕入債務	1,224	994	+230
売上債権	2,481	2,003	+478	短期有利子負債	1,053	1,561	△507
棚卸資産	700	573	+127	その他流動負債	667	430	+236
その他流動資産	244	90	+153	固定負債	2,016	1,656	+359
固定資産	3,297	3,414	△117	長期有利子負債	1,602	1,191	+411
有形固定資産	2,696	2,751	△55	その他固定負債	413	465	△52
無形固定資産	67	107	△40	負債合計	4,962	4,643	+319
投資その他資産	533	554	△21	純資産合計	2,260	2,006	+254
資産合計	7,223	6,649	+573	負債・純資産合計	7,223	6,649	+573

資産の部 : 期末に売上が集中した影響で売上債権が増加したことにより、流動資産が増加しました。また、設備投資実績よりも減価償却費が上回ったことや、固定資産除却により、固定資産が減少しました。

負債の部 : 短期借入金を社債に振り替えたことにより、流動負債が減少し、固定負債が増加しました。

純資産の部 : 未処分利益の増加により利益剰余金が増加しました。

# 新製品・研究開発の動向



## 新製品



地震ウォッチャー SW-72、SW-74  
(平成18年2月発売)



カードバイブロードバンド  
(平成17年11月発売)



マイグレーションテスター用  
パルス印加ユニット PMU-100  
(平成18年1月発売)



オールウェザーシミュレーター(電気炉複合)  
(平成18年3月発売)

## その他、開発中の案件

### ・輸送振動耐久評価試験装置(特許出願中)

新たな試験手法に対応した試験装置を開発し特許化することで、先駆者利益を独占します。

### ・高効率省エネアンプ

アンプの信頼性向上と効率化を図り、コスト面、環境面に優れた製品を追及します。

### ・インテリジェント・システム・マネジメント技術

省エネルギー運転機能、運転状況管理機能、メンテナンス情報管理機能等の新たな機能価値を付加し、差別化されたシステムを実現します。

### ・次世代振動制御システム

当社の強みである振動制御技術をさらに高め、ユーザーフレンドリーな制御システムを構築します。

### ・標準製品の高度化

上記高度化対応技術を標準製品へフィードバックし、仕様面・コスト面での競争力を高めてまいります。

### ・高電圧マイグレーションテスター

特注品で培った独自技術を元に自動車産業のニーズに対応した高電圧マイグレーションの開発を進めます。





# 次期の見通し(連結概要)



(単位:百万円)

	07/9期 予想	06/9期 実績	増減額	増減率
売上高	5,850	4,953	+896	+18.1%
経常利益	711	609	+102	+16.8%
当期純利益	463	329	+133	+40.5%
設備投資額	1,099	204	+895	+438.3%
減価償却費	267	278	△10	△3.9%
研究開発費	124	96	+28	+29.8%
従業員数※	213人	191人	+22	+11.5%
1株当たり利益※	27.34円	19.47円	+7.87	+40.4%
1株当たり配当金※	5.00円	4.00円	+1.00	+25.0%

- 受注が遅れていた多自由度大型物件や海外売上増加等を見込み、売上高は前期と比べ896百万円増収の5,850百万円の見通しです。
- 新たな事業投資やブランドの再構築等の一過性の費用を見込み、経常利益は前期と比べ102百万円増益の711百万円の見通しです。
- 名古屋テストラボに営業所を統合することによる土地売却益を見込み、当期利益は前期と比べ133百万円増益の463百万円の見通しです。
- 名古屋テストラボのほかショールームの開設等を見込み、設備投資額は前期と比べ895百万円増加の1,099百万円の見通しです。
- 新入社員10人増、中途社員10人増の他、期中臨時従業員の増加も見込み、従業員数は前期と比べ22人増加の213人の見通しです。
- 通常配当4円に50周年記念特別配当1円を加え、1株当たり配当金は前期より1円増加の5円の見通しです。

※従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※06/9期の配当金につきましては、2006年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。

# 次期の見通し ～成長戦略



- 乗り心地シミュレーターや多軸4ポスター(ロードシミュレーター)などの多自由度シミュレーターの計上を予定しています。



- 周辺事業領域への業容拡大により、オールウェザーシミュレーターの売上増加とコスト削減を計画しています。



- 高度化技術をフィードバックすることで、仕様面・コスト面でさらに競争力の高い、標準振動シミュレーターの製品ラインナップを実現します。
- 既存のアジア市場のみならず、欧米及びBRICs圏への積極展開を行ないます。
- 地震計とイオンマイグレーションテスターの新製品投入による収益貢献を見込んでおります。
- 試験設備への追加投資により、大阪テストラボの事業拡大を目指します。

## 事業投資の積極化

- 名古屋テストラボの開設
- 新技術開発プロジェクトの事業化
- 生産改革の断行



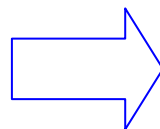
名古屋テストラボイメージ図

## コーポレートブランドの再構築

- コーポレートロゴの刷新
- コンセプトブックの製作
- 株主還元(記念配当)



従来のロゴデザイン



新ロゴデザイン



## 販売促進戦略の見直し

- 代理店政策の活性化
- ショールームの開設
- IMVマイスタープログラム
- 50周年記念キャンペーン



大阪ショールームイメージ図

## 基本戦略は変更しない

基本戦略は変更せず、それを実現するための具体的な機能戦略・事業戦略を一部見直すことで中期目標達成を目指し、総合環境シミュレーション業界のリーディングカンパニーとして持続的な成長を実現してまいります。

## 数値目標を一部修正

2006年9月期の業績が予想未達となった原因である受注遅れの影響に鑑み、2008年9月期の売上高目標を67億円に修正いたします。当初目標であった77億円については、2009年9月期の目標として再設定いたします。

また、株主還元の方針をより明確にするために、配当性向を15%以上とする目標を、配当金を6円とする目標に変更いたします。

生産改革によるコストダウンや海外事業への更なる経営資源の投入等により、売上高対経常利益率及び輸出比率を15%以上とする目標は変更せずに据え置きます。



# 中期事業計画「PRESTO 2008」の概要



## 基本戦略



## 数値目標

	05/9期		08/9期
売上高	50億円	⇒	67億円
経常利益率	12%	⇒	15%以上
輸出比率	7%	⇒	15%以上
配当金	3.75円	⇒	6円

## 全社戦略

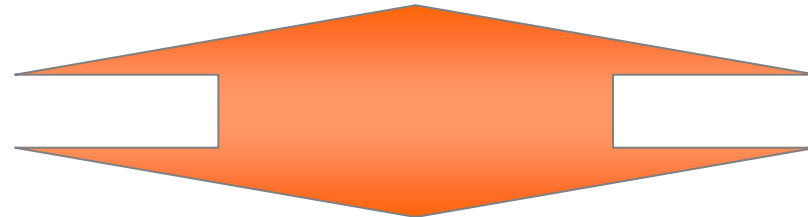
- M&Aへの積極的な取り組み
- ノンコア事業における社内分社化への挑戦
- 50周年を機にコーポレートブランドを再構築

## グループ経営の推進

既存事業部門や新技術開発プロジェクトにより事業化された新規事業の中から、社内分社化が可能な事業を選択し、実現に向けた社内体制を構築してまいります。

## 事業分野の拡大

事業領域の拡大を目指し、既存事業周辺分野への進出を検討するとともに、外部企業に対するM&Aの可能性を調査してまいります。



## 人材育成

次世代経営者・管理職候補に対してマネジメント教育を実施し、社内分社化やM&A実施後のグループ経営に対応できる人材を育成してまいります。

## 組織の変革

生産機能と開発機能の分離や海外事業部門の強化などを実施しました。今後も計画実現のために柔軟に対応してまいります。

# ありがとうございました

代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫

---

常務執行役員営業本部長 岡本 二郎

---

お問合せ先

IR窓口 経営企画室・IR担当 大和 充

TEL:06-6478-2565 FAX:06-6478-2567

E-MAIL: [ir@imv.co.jp](mailto:ir@imv.co.jp) <http://www.imv.co.jp>

## ○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。